

## 3

## 事業承継を実行するまでの「5つのステップ」

## ■ 事業承継の準備から計画の策定、実行まで5つのステップ

ステップ  
1

## 事業承継に向けた準備の必要性の認識

事業承継に向けた早めの準備の必要性を認識するための「事業承継診断」や経営者と支援機関との事業承継に関する対話・相談に取り組む。

ステップ  
2

## 経営状況・経営課題等の把握（見える化）

経営状況を把握するためのツール(中小会計要領・ローカルベンチマーク・知的資産経営報告書等)を活用しながら、経営の見える化を行い、課題の改善に向けた方向性を明確にする。

ステップ  
3

## 事業承継に向けた経営改善（磨き上げ）

経営者が将来の事業承継を見据えて、本業の競争力の強化などにより企業価値を高めることで、会社を後継者にとって魅力的な状態にまで引き上げる。

## 親族内・従業員承継

## 社外への引継ぎ

ステップ  
4

## 事業承継計画策定

円滑に引継ぎを進めるために、後継者とともに、株式、事業用資産や代表権の承継時期を記載した事業承継計画を策定する。

## マッチング実施

ステップ  
5

## 事業承継の実行

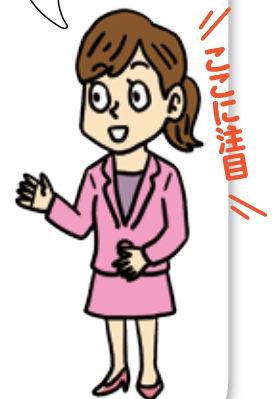
株式、事業用資産や経営権の承継を実行する。

## M&amp;A等の実行

株式、事業用資産や経営権の承継を実行する。

ポスト事業承継（成長・発展）

実行する時点での状況の変化に対応しながら、事業承継計画を修正・ブラッシュアップしていく柔軟な姿勢も、スムーズな事業承継には大切です。税負担や法的な手続きについても随時、税理士、弁護士などにアドバイスを求めながら着実に実行しましょう。



## ポイント ▶ 早めに準備を進めるメリット

事業承継の準備を早めにスタートするメリットの一つは、事業を承継できる体制を早い段階で整えることで、会社の業績、市場の動向を踏まえてベストのタイミングで事業承継を実行に移せることです。また、後継者の手腕、適性をじっくり見極めることもできます。